

第109回 知的財産問題研究部会（IP部会）

テーマ 「実用段階に入った生成AIの特許実務での活用法」

日時 2025年5月9日（金） 13:30～16:30

場所 アクトシティ浜松 研修交流センター 51

講師 よろず知財戦略コンサルティング 代表 萬 秀憲 氏

様々な特許業務における生成AIの活用方法についてご講義いただきました。

<講演内容>

1. 生成AIの活用に関して最近寄せられた質問から
2. 群雄割拠の時代の生成AIの基本と活用法
3. 特許調査/分析業務における生成AI活用法
4. 特許出願権利化業務における生成AI活用法
5. 知財戦略策定等の業務における生成AI活用法
6. 生成AIを巡る主なリスクと対応、取り巻く環境

<所感>

AI活用に関する課題についての多様な回答をもとに、生成AIがどのように分類・整理し、回答案を導き出すかが紹介され、生成AIのイメージが具体的に示されました。その後、群雄割拠している生成AIツールについて、それぞれの個性や特長を踏まえ、目的に応じて最適なAIを選択することの重要性が解説されました。

さらに、特許調査や発明発掘、明細書作成・拒絶理由対応といった権利化業務をはじめ、発明評価や知財戦略策定における生成AIの実践的な活用方法についても丁寧に説明されました。随所で、生成AIを社内で導入・活用するためのポイントや、情報システム部門との連携の必要性に触れたアドバイスもあり、導入が進んでいない企業にとっても非常に有益な内容であったと思います。

質疑応答の終盤では、「今後の知財部門は、急速に進化している生成AIを活用し、出願や権利化といった従来の業務から、戦略的な業務へと変わっていくべき」とのコメントがあり、多くの参加者が深く頷いていたのが印象的でした。

生成AIの現状を分かりやすく把握できるとともに、説明も資料も中身が濃い非常に充実した内容でしたので、参加者にとって多くの“持ち帰り”があった、大変有意義な講義だったと感じました。

～IP部会委員代表～